■　平成２５年度　　学校経営全体構造図

■　法・時代の要請
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領　他

■　学校の教育目標
社会で生きて働く力をもつ生徒の育成
（めざす生徒像）
１　自ら学び続ける姿勢をもつ生徒
２　健康で思いやりのある生徒
３　自分の行動に責任をもてる生徒

■　地域・生徒の特色
【地　域】
・自然環境に恵まれている。
・水産業が主体である。
・教育活動に対して協力的である。
・家族や町会を中心に，地域で子どもを守り育てる雰囲気に溢れている。

【生　徒】
・素直で明るく純朴。
・耐性の面でやや弱いところがある。
・落ち着いて学習に取り組んでいるが，基礎学力の定着に課題のある生徒もいる。
・自ら学ぶ力を高め，集団としての表現活動を高めることが課題。

■　学校運営組織
校長―教頭（渉外）
職員会議
- 教務
  - 教務係
  - 研修係
  - 進路指導係
  - 図書係
  - 視聴覚係
- 生徒指導
  - 生徒指導係
  - 課外活動係
  - 生徒会係
  - 保健安全係
  - 給食係
  - 保健体育係
  - 校内外環境係
- 庶務経理
  - 庶務係
  - 経理係
  - 共済係
  - 教材教具係
- 学年
  - １年生
  - ２年生
  - ３年生

■　学校経営の基本理念
１　授業こそ教師の命
（研修の重視、日常の授業へのフィードバック）
２　遵法の精神（公教育を行う自覚と責任）
３　指導・取組の重点化
４　適切な指導
５　誠実な対応、体罰・いじめに対して真摯な対応
６　鉄壁のカバーリング（連携・「協働共汗」の精神）
７　整合性と一貫性（総論から各論に至るまで）
８　評価し、改善の具体策を（改善プランの意識化）
９　バランス感覚（大人としての価値観、教師としての価値観から学ばせる）
１０「すべては子どもたちのために」

■　本年度の重点
「よく学び、正しく行動する生徒の育成」
１　学力向上と学習習慣の確立
○　授業改善　　○　朝読書の充実
○　家庭学習の奨励　　○　放課後学習の充実
２　正しい言葉・正しい行動
○　「学習規律」に係る教師間の共通理解と指導
○　基本的生活習慣の確立
３　協働・連携による指導の充実
○　全職員の協働による一貫した指導
○　家庭・地域との連携
○　小中連携の基盤づくり

■　保護者の願い
・地域を大切にし，社会の変化に対応できる幅の広い生徒。
・学習の仕方を知り，自ら学習する生徒。
・人との関わり方を知り，それを実践できる生徒。
・人に痛みがわかり，助け合う優しい心とそれを実践できる生徒。
・物事に正面から向き合い，工夫と努力で困難を乗り越える生徒。
・社会人として，責任を持った行動ができる生徒。

■　経営・指導に係る実践事項・方針
１　質的向上を目指す学校づくり
２　教職員の資質能力の向上を目指す校内研修
３　地域と共に子どもを守り育てる体制づくり
４　「生きる力」を育む教育課程の編成・実施・評価
５　基礎・基本を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒を育てる学習指導
６　生命を大切にし、思いやりの心を育てる道徳教育
７　自主的・実践的な態度を育てる特別活動
８　「知の総合化」を図る「総合的な学習の時間」
９　心のふれあいを基盤とした生徒指導,学年･学級経営
１０　夢と希望を育む進路指導
１１　生命を尊重し、たくましく生きる力を育てる健康・安全教育

■　校内研修
【研究主題】
「『わかる』『できる』を体得し、主体的に表現する生徒の育成」
～魅力ある授業づくりと「確かな学力」を活かす指導方法の研究を通して～
（3カ年計画　1年次）

教育課程の編成

教　科　（学び方）
・指導内容の重点化と教材の精選。
・生徒の実態に即した指導計画の作成。
・ねらいや子どもの実態に応じた指導方法，学習形態の改善充実。
・指導の効果を高める教材教具の活用。
・実践の評価と指導方法の改善。

道　徳　（生き方）
・人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を持つ。
・伝統的な文化を継承し,発展させ,個性豊かな文化の創造に努める人間を育成する。
・道徳的実践力を養う。

特別活動　（行い方）
・望ましい集団活動を通して，心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図る。
・集団の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。
・人間としての生き方について自覚を深め､自己を活かす能力を養う。

総合的な学習の時間

学　年　・　学級経営

計画・実践・評価・改善